

国際委員会(第25期・第12回)議事要旨

1. 日 時：令和3年10月22日(金) 13:00～14:30
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：高村委員長、荒井委員、梶田委員、小池副委員長、後藤幹事、三枝委員、佐野委員、白波瀬委員、
(事務局)：寺内国際業務担当参事官、国際業務担当室員

議 題

(1) 国際委員会議事要旨(案)(第7回)について

委員長より資料の説明後、承認された。

(2) 国際活動の強化について

委員長から、学術会議の国際活動についてプライオリティを明確化するため、今後5～6年のスパンで中期的な戦略(計画)を策定することが提案され、策定案について意見交換が行われた。委員からは、ISCとの連携や学術会議が加入する各国際学術団体(国内対応委員会)における横の連携強化、加入国際学術団体で役員等として活動されている会員、連携会員以外の方との連携の在り方等について意見が出された他、アジア学術会議、アフリカ開発会議(TICAD)等、既存の枠組を効果的に使った地域間の協力、国際的に活躍する若手科学者の育成やその環境作り、提言の英訳等の情報発信や広報活動の強化、デジタル・トランスフォーメーションへの対応等について意見が出された。また、国際活動は、国内の学術活動の充実が前提となることを踏まえ、日本の科学技術力・研究力の強化に向けた取組が不可欠であることが指摘された。

(3) その他

- ①10月11日～15日に開催された第2回ISC総会で、白波瀬佐和子委員が財務担当の副会長に、小谷元子連携会員が次期会長に選出されたことが報告された。
- ②9月29日～30日に開催されたFE総会で、ガバニングカウンスルメンバーに高村国際担当副会長(ファウンダー枠)と沖委員(ナショナルコミッティー枠)が選出されたことが報告された。
- ③加入国際学術団体の見直しを行うにあたり、井口高志東京大学大学院人文社会系研究科准教授に国際対応戦略立案分科会外部評価委員を依頼したことが報告された。

以上